

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApag>

facebook



vol 454

Sep 2025



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~5
CAPP&INSTRUCTOR STATION	6~7
JAHA STATION	8~9
News&Information	10

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階

TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253

website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



理事 枝村 一弥
日本大学生物資源学部 獣医学科 教授

動物病院の認証と質保証：これからの動物病院が目指すところ

昨今、動物病院は獣医療を提供するだけでなく、質の高い顧客サービス、就業者の満足度の向上、社会貢献が求められています。それは、大学付属動物病院も同様であり、獣医師と愛玩動物看護師の養成や先進的な治療を遂行するだけでなく、選ばれる動物病院になるためには多角的な視点から評価を受けた質保証も重要なポイントとなっています。

獣医学科を設置している大学は、獣医学教育の質を社会に対して保障するために、第三者機関による評価を受けています。その代表的なものが、公益財団法人大学基準協会による獣医学教育評価です。日本大学を含む私立獣医大学では、獣医学教育の国際水準達成を目指し、一般社団法人日本私立獣医科大学協会に加盟している大学間で相互評価も行っています。さらに、最近では、欧州獣医学教育機関協会(EAEVE)による国際認証を取得する大学も出てきました。しかし、これらは獣医学教育に主眼を置いたものであり、動物病院そのものの認証ではありません。そこで、日本大学動物病院は、日本で初めて獣医教育病院として米国動物病院協会(AAHA)による国際認証の取得を試みました。

AAHAは、米国とカナダにおける伴侶動物病院を認定する唯一の組織であり、獣医療における指針の策定、獣医師や動物看護師の専門領域の認定、教育プログラムの提供などを行っています。現在までに、北米において約15%の動物病院しかAAHAの認定に至っておらず、その認定は狭き門として知られています。AAHAの認定を受けるためには、顧客対応、卒後教育、人事、伝染性疾患への対応、検査機器、薬剤管理、メンテナンス、リーダーシップ、医療記録、動物の扱いと治療、歯科診療、画像診断、疼痛管理、麻酔、緊急医療、外科診療といった分野における約900項目以上についての審査が行われ、基準を満たす必要があります。その際には、前述した全項目の審査に加え、AAHA日本

支部および米国審査員による現地での対面審査も実施されました。その結果、日本大学動物病院は、2023年8月に北米大陸以外の獣医教育動物病院で初めてAAHAによる国際認証を受けることができました。

自身の動物病院が第三者評価を受けることで、思わぬ副次的な効果もありました。審査の過程で、獣医師だけでなく、愛玩動物看護師、補助スタッフ、受付、検査部、病院事務など様々な職域のグループが、仕事の流れから書類の書き方まで細かく自己評価を行います。そこで、従前まで当たり前のことだと思っていたことが、実はローカルルールであり、第三者の視点からは改善すべき行為であることに気づき、その多くが自発的に修正されました。また、顧客サービスで足りない点や、就業者の改善要求点も認識することができました。

このような流れから、日本大学動物病院は、国内で動物病院認定制度を行っている日本動物病院協会(JAHA)にも入会しました。JAHAは、「誰もが安心して受診できる」、「誰もが生き活きと働ける」、「人と動物の幸せのために社会貢献活動に積極的に取り組む」動物病院を認定する事業を行っており、本院が目指す道と合致しています。まずは、スタンダード認定があり、その上位に学術認定、社会貢献認定、ホワイト認定があります。これらの認定の取得は、自身の動物病院の質保証になるだけでなく、スタッフの意識や顧客サービスの質向上にもつながります。現在、日本の動物病院の60%以上は獣医師が一人の施設になっています。そのような動物病院こそ、自己評価や第三者による認定を受けることで、自身の動物病院の立ち位置がわかるきっかけとなります。このように、業界内で相互評価して高め合うことは、獣医療全体の底上げと社会的地位の向上に寄与すると確信しています。このような輪が、日本の一つでも多い動物病院に広がることを期待しています。



WJVF第16回大会 JAHAプログラム ご報告

●大会会期：2025年7月26日（土）～27日（日）

●会場：ホテルニューオータニ大阪

●共催：公益社団法人日本動物病院協会（JAHA）／一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム（JBVP）

●JAHAプログラム「人とどうぶつの絆」 7月27日（日）9:00～18:10

WJVF、そして JAHA プログラムにご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。素晴らしい講演をしてくださった講師の先生方、企画と運営に携わった JAHA の実行委員の皆様、そして JBVP の先生方と WJVF 事務局の皆様にも心から感謝申し上げます。



開会式：宗像会長の挨拶



会場の様子



展示ブースの様子

▼ 獣医師、愛玩動物看護師、動物病院スタッフ向けプログラム

●9:00～10:10

「パピークラスの始め方 一ご家族と愛犬にとってオンリーワンの動物病院になる」

講師：小野寺 智香先生（大阪府 南大阪どうぶつ行動診療、獣医師、JAHA認定こいぬこねこ教育アドバイザー）



●10:30～11:40

「パピー期を過ぎてからのご家族に伝えたいこと～お散歩関連のご相談にどう答える?～」

●17:00～18:10

「叫ぶ! 暴れる! 怖がる! 柴犬の診察困っていませんか?～病院スタッフが現場で出来ること～」

講師：岡田 友里香先生（神奈川県 出張しつけ相談 With Dog、愛玩動物看護師、JAHA認定家庭犬しつけインストラクター）



▼ 市民公開講座

●13:40～14:50

「One well-being 人と犬と社会の関係」

講師：菊水 健史先生（麻布大学）



●15:10～16:20

「うちの子も参加できる? 人と動物のふれあい活動の実際 ～我が子と一緒に社会貢献!～」

講師：大林 杏子先生（香川県 KOKO どうぶつ病院、獣医師）



— 今月の表紙 —

『第16、17代会長 石田卓夫先生
譲渡の子猫ちゃんと』

写真提供：
柴内 晶子先生



ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています

「人と動物の絆」をテーマに、ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています。
お寄せいただける方はお写真と一緒に、お写真の提供者名（掲載するお名前）、お写真のタイトルをinfo@jaha.or.jpまでお送りください。
どうぞよろしくお願いいたします。

※肖像権、著作権、動物の福祉に配慮した写真をお願いします。



こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



こいぬこねこ教育アドバイザー実践コースに参加して

みささぎ動物病院 田中楓夕

わたしには尊敬する先輩がいました。今の職場で働こうと思ったのも先輩がいたからです。

先輩は動物思いで飼い主さんから頼りにされていて、わたしにとって先輩は動物病院の顔だと思ってました。ですが、1年前仕事を辞められました。

先輩がいなくなった不安と動物看護師が1人になった忙しさで、飼い主さんや動物に十分に寄り添うことができず毎日流れ作業のように過ごしていました。

そんな時、飼い主さんに「1人で大変やけど頑張って」や、「田中さんがいてくれてよかった」など言ってもらい、わたしが仕事を休んだ時には心配してくださる飼い主さんもいて、このままじゃダメだなと自分の仕事に対する気持ちを見直すことができました。

わたしの夢は、動物看護師を目指した時から変わらず動物にも飼い主さんにも安心を与えられる存在になることです。

先輩のようにはなれないかもしれないけど、獣医師に聞きにくいことの相談にのったりお会計の時に一言お話ししてみたり忙しくて獣医師がバタバタしている時でも笑顔を忘れず今まで以上に意識して丁寧な対応をしていきたいと思います。

飼い主さんが来院しやすい環境をつくることで動物にも安心感が伝わり、動物の性格や反応をみてそれぞれに合う保定や診察の仕方を考えていい雰囲気での診察できる動物病院づくりをこれからも動物看護師としてサポートしていきたいです。



なごみ豆知識!!

人材確保と定着を強化する「くるみん認定」のご紹介

昨今、採用競争が激化しており、魅力的な職場環境をアピールすることは、人材の確保と定着につながります。そこで今回は、子育て支援をはじめとした働きやすい職場づくりに取り組む動物病院が取得できる「くるみん認定」をご紹介します。

◆「くるみん認定」とは

企業が子育て支援に積極的に取り組んでいることを示す、厚生労働大臣による認定制度です。「子育てサポート企業認定」とも呼ばれ、次世代育成支援対策推進法に基づいています。

「くるみん認定」には、「くるみん」のほかに「トライくるみん」「プラチナくるみん」とがあり認定基準によって区分されています。また、それぞれの「くるみん」には不妊治療と仕事の両立についての認定基準を達成すると「プラス認定」が加わります。

各くるみんマークは下記になります。



「くるみん」



「トライくるみん」



「プラチナくるみん」

出典：厚生労働省ホームページより

◆取得のメリット

1. 人材採用でのアピール効果

認定企業は「くるみんマーク」を名刺や求人票、広告などに表示でき、子育て支援に積極的な動物病院であることを社会に示せます。これにより、学生や求職者からのイメージアップや優秀な人材の確保につながります。

2. スタッフの定着率向上

子育て支援制度の院内周知が進み、制度の利用が促進されることで、出産・育児を理由とした離職の減少や、働きやすい職場環境の整備が進みます。

3. 業務効率化の推進

認定取得に必要な一般事業主行動計画の目標達成に向けた取り組みにより、時間外労働の削減や生産性向上など、働き方改革にもつながる効果が報告されています。

4. 助成金活用

中小企業の場合、「くるみん助成金(中小企業子ども・子育て支援環境整備助成事業)」を活用でき、最大50万円の支給を受けられる可能性があります。

また、くるみん認定を受けることで両立支援等助成金(厚生労働省)の加算措置を受けられる場合があります。

5. 経済産業省の補助金での加点評価

経済産業省からのものづくり補助金やIT導入補助金などで、くるみん認定企業は加点評価を受けることができ、採択率がアップします。

6. 税制優遇や融資の利率優遇

一定の要件を満たした場合に賃上げ促進税制の優遇措置や、日本政策金融公庫の融資制度での金利優遇など、経済的なメリットもあります。

◆申請方法

1. 病院の現状やスタッフのニーズを把握

子育て支援に関する課題やスタッフの声を調査し、改善点を

明確にします。

2. 一般事業主行動計画の策定

次世代育成支援対策推進法に基づき、計画期間・目標・具体的な対策などを盛り込んだ行動計画を作成します。

3. 行動計画の公表と社内への周知

厚生労働省の「両立支援のひろば」や病院ホームページなどで公表し、スタッフにも周知します。

4. 都道府県労働局への届出

行動計画を策定した旨を、労働局に届け出ます(策定からおおむね3か月以内)。

5. 行動計画の実施と目標達成

行動計画に沿って取り組みを実施し、設定した目標を達成します。

6. くるみん認定の申請

目標達成後、必要書類をそろえて労働局に申請します。

7. 審査・認定・マークの付与

審査を経て認定されると、「くるみんマーク」が付与されます。

申請は、企業規模や状況によって多少異なる場合もありますが、基本的にはこの流れとなります。

さらに上位認定である「プラチナくるみん」を目指す場合には追加の基準と手続きが必要となります。

厚生労働省パンフレット「次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、くるみん認定・トライくるみん認定・プラチナくるみん認定を目指しましょう!!! (令和7年3月)」より参照

認定取得に関する詳細については社会保険労務士にご相談下さい。

2025年 6月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
栃木県	マイホームきよはら【矢部 真人(V)】	10	3		7	8			
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	2	3		6	7			
東京都	ビバフローラ【清水弥生・海老澤崇史(V)】	12		2	15	8			
	サンピナス立川【浜村富美子・岩崎伸(V)・野坂昭文(V)】	13			4	3			
	麻布慶福苑【徳永治子・齋藤麻実子(V)】	12	1	10	1	10			
	デイ・ホーム等々力【湯澤瑞子】	4		9	2	6			
	サン・サン赤坂【セマヤ雅子】	6		10	1	7			
	久我山園【金子いづみ】	10		7	1	5			
	ツクイ・サンシャイン成城【石森菊江】	11		8		7			
	特養 きく【尾前元子・柴内裕子(V)】	15	1	9	4	6			
	やはら翔裕園【永島恵子・石川幸子(V)】	16		5		4			
	いきいきプラザ一番町【読見里喜久恵・柴内晶子(V)】	19	1	13	1	9	1		
	くめかわ翔裕園【永島恵子・晶中道昭(V)】	24	1	5		3			
	芦花ホーム【金澤順子】	25		1	11	2	8		
	神奈川県	旭ホーム【水谷渉(V)】	1	3	1	1	2	1	2
ラポール藤沢【水谷渉(V)】		19	2	2	2	1	1	3	
ひとりざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】		26	1		7	6			
ふれあいの森【水谷渉(V)】		5	2	2	2	1	1	3	
ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】		6			1	1	1		
横浜さくら苑【佐藤恭子】		8	1		4	3	1		
京都府	醍醐の里【新山則子(V)】	18	2	1	2	7	4		
大阪府	美さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	15	3	1	5	3	5		
兵庫県	こうべ動物共生センター【高崎善徳(V)】	13			3	1	3		
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	18	1		9	8			
福岡県	若杉の里【徳永可和子】	11			4	2			
	宗像アコール【吉田真理子・永田朋子(V)】	11			3	2	5		
合 計		26回	22	13	162	26	132	5	8

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加	見学	犬	猫	他
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	10	2	3	1		4		
東京都	こすもす生活園【森本祐子】	3			7		6		
	都立府中療育センター(P)【石川幸子(V)】	4	1				1		
	都立府中療育センター【石川幸子(V)】	18	1		12	1	9		
神奈川県	湘南鬼瓦【水谷渉(V)】	12	2	2	2	1	1	1	3
富山県	COCORO【吉田理栄子(V)】	3	1		5	1	4		
大阪府	とくふうホーム【田中玲子・土居奈美(VN)】	16			4		3		
合 計		6回	7	5	31	3	28	1	3

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
千葉県	おおたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	8	1	2	6	4	5	
	南流山わんわんふれあい教室【市川美雪・黒木慎介(V)】	28		2	5		3	
東京都	杉並区和田中央児童館【千葉陽子(V)】	7	1		14		9	
	三鷹市立三鷹図書館【風祭紀子・滝村昌世・千葉陽子(V)】	21	2		10	4	5	
富山県	射水市立下村小学校【吉田理栄子(V)】	6	2		12		14	
愛知県	名古屋市中央児童相談所【廣瀬佳代(V)】	6		1	2	2		
兵庫県	こぐさ動物共生センター【熊井恵子・村田香織(V)】	21	1		1	2	2	
宮崎県	宮崎市立宮崎南小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	6			2	5		
		20			2	5		
		23			2	5		
	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	2			3	6		
合 計		11回	0	0	3	0	6	0

医療施設等

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
青森県	青森慈恵会病院【村田道子・保木明彦(V)】	25	1	1	6	1	3		
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	18	1		5		6		
	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	25	1		3		3		
	千葉県がんセンター【三村竜明(V)】	11	3		4	2			
東京都	東京衛生ドッグズ病院【竹中晶子(VN)】	6		1	2		2	1	
		13		2	1		2	1	
		20		1	2		2	1	
		27		1	3		3	1	
		長谷川病院【浅原久子】	26			6	1	6	
	聖路加国際病院【柴内晶子(V)】	26			5		4		
	信愛病院AAA【島居由紀・柴内裕子(V)】	10		1	7	1	6		
神奈川県	横浜市立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	18	1		3		3		
富山県	藤の木病院【吉田理栄子(V)】	17	1		9		10		
静岡県	天竜病院【大井由紀子・館澤仁(V)】	9			4		4		
愛知県	愛知県医療療育総合センター【梅村由佳理・夏目聖枝子(V)】	27			4		4		
	岡崎市民病院【太田恵子・大竹克己(V)】	25			8	3	4		
兵庫県	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	11	1	1	5		7		
	神戸アドベンチスト病院ホスピス(P)【石井孝子】	4			1		1		
		25			1		1		
岡山県	岡山リハビリテーション病院【天野達也(V)・大石太郎(V)】	10	2	3	6		6	1	
合 計		20回	11	11	85	8	77	5	0

	活動回数	獣医師	動物 看護師	ボランティア		犬	猫	他
				参加	見学			
6月合計	63回	40	29	281	37	243	11	11

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

CAPPチームリーダーの皆様へ

～ニュースレターで活動紹介をしませんか？～

この活動は、多くのボランティアの皆様を支えられ全国で行われています。
それぞれの地域・チームでの活動の情報共有の場として、ニュースレターで活動のことやチームのことを是非ご紹介ください。
※活動紹介第一弾は2025年6月号に掲載されていますので是非ご覧ください♪



投稿フォームはこちらから

6月の寄付と募金のご報告

CAPP設置募金箱から

千葉県市原市	市原・山口動物病院	16,948
大阪府大阪市	グレイス動物医療センター	424
広島県福山市	坂本獣医療科病院	7,075
大阪市大阪府	フレックス動物病院	11,538

企業・団体からの寄付

公益社団法人 アニマルドネーション	448,496
株式会社PEPPY (ポイント募金とチャリティーから)	66,514

ポイント募金

Yahoo!お	72,244
SOFT BANKつながる募金	6,134



Differences in dogs' and wolves' human-directed greeting behaviour: facial expressions, body language, and the problem of human biases

Svenja Capitain, Gwendolyn Wirobski, Çağla Önsal, Giulia Pedretti, Valeria Bevilacqua, Sarah Marshall-Pescini & Friederike Range
Animal Cognition 28, 54 (2025)

イヌとオオカミの人に向けた挨拶行動の違い 表情・ボディランゲージ・人のバイアスの課題

イヌもオオカミも、人と効果的にコミュニケーションをとる能力を備えています。特に社会化された個体では、人との接触を通じて複雑な行動や感情のやり取りが見られます。しかし、人に向けられる表情にどのような違いがあるのか、またその行動がどのような要因によって形成されるのかについては、まだ明らかになっていない点が多くあります。中でも、動物と人との関係性の強さ（たとえば、絆の深さや馴染みの度合い）が表情に及ぼす影響については、これまで十分に検証されてきませんでした。

本研究では、イヌおよび社会化されたオオカミを対象に、それぞれが絆のある、または馴染みのある人とフェンス越しに挨拶を交わす場面における表情を比較しました。私たちは、表情の違いは家畜化の過程で生じたものであり、さらに人との関係性の強さによっても影響を受けるという仮説を立てました。加えて、本研究では挨拶における人と動物の双方向的な相互作用にも着目し、動物側の行動だけでなく、人側の反応にも種による無意識の偏見があるかどうかを検討しました。

調査には、オーストリア、エルンストブルンにあるウルフサイエンスセンター（CF-WSC）で飼育されているオオカミ11頭とイヌ11頭、さらに家庭犬7頭が参加しました。人のパートナーは、絆のあるグループと馴染みグループの2つに分けられました。動物たちがそれぞれの人とフェンス越しに挨拶する様子をビデオ撮影し、犬の表情はDogFACS（Facial Action Coding System）、人の表情はHuman FACSを用いて分析されました。

行動分析の結果、オオカミとイヌの人に向けた表情に全体的な違いは見られませんでした。細部にはいくつか明確な違いが確認されました。たとえば、オオカミは耳を前方に向けて注意を示す傾向が強かったのに対し、イヌは耳を後方や下方に動かすなど、両価的あるいは服従的な感情と関連する動きを多く見せていました。また、イヌはオオカミよりも人に対してより頻繁に接近し、視線を向け、尾を振る時間も長いこと

がわかりました。さらに、イヌ・オオカミともに、馴染みはあるが絆の薄い相手に比べて、より親密な関係にある人に対して、前足を上げる、あくびをする、クンクン鳴くなどの代替行動を多く示す傾向が見られ、関係性の強さが彼らのコミュニケーション行動に影響を及ぼしている可能性が示唆されました。

一方、人側の反応にも興味深い傾向がありました。人は、オオカミよりもイヌに対して、より頻繁に、より強く、肯定的な表情（たとえば笑顔や柔らかな目線など）を示すことが明らかになりました。この結果は、人の態度や反応にはイヌに対する無意識の好意的バイアスを持っており、その傾向は関係性の強さに関わらず一貫していることを示唆しています。

結論として、イヌもオオカミも、近接探索、置換行動、注視、耳の動きの違いを通じて人と交流し、馴染みのあるパートナーよりも絆の強いパートナーに対してより接近し、服従的な行動を示しました。顔の表情に関しては、全身や耳の動きの行動の違いほど違いが見られなかったことから、イヌは人とのコミュニケーションにおいて、目立つ行動をより多く利用している可能性が示唆されました。ただし、関係性の強さに関わらず、イヌに対してより強く、表現豊かで、肯定的な表情を示すという人側のバイアスが、結果の解釈に制約を与える可能性があります。

本研究は、動物の行動の客観的な観察だけでなく、人側の認知バイアスの存在を明確に示した点でも重要です。ただし、イヌの従順で親和的な行動が、どの程度まで種特有のものなのか、あるいは長期的に偏った関わりによって形成されたものなのか、また、この双方向の影響を引き起こすメカニズムが何であるのかについては、依然として不明です。今後は、より制御された実験的研究が必要であり、こうした知見は家畜化の過程やイヌの対人コミュニケーション行動の進化的背景を理解する上でも重要です。

会議録

第3回 年次大会 実行委員会

開催日時:2025年7月7日(月)20:00~21:30

開催方法:オンライン(zoom)

出席者(敬称略):

実行委員長:増山浩一、実行副委員長 大石太郎

実行委員:浅井亮太、勝間健次、寺島美穂、中村悟、中村喜雄、長谷往明、松尾英治、村田元

理事:副会長 市川陽一朗、吉内龍策、専務理事 水野浩茂

担当理事:横山篤司

(欠席:家入秀明、水越美奈、宮崎務、森淳和)

協議事項:

1. プログラム進捗状況(確認)
2. 協賛・展示申込状況(確認)
3. 参加費について
4. 広報、集客について
5. その他、運営に関する確認事項

会議録

第2回 WJVF実行委員会

開催日時:2025年7月10日(木)19:00~19:50

開催方法:オンライン(zoom)

出席者:

実行委員長:正田晃一

実行委員:浅井亮太、小山田和央、桑原岳、岸涼香、近藤元紀、小林智子、新山亮

理事:吉内龍策副会長、宗像俊太郎会長

(欠席:石田千晴、中村喜雄)

議題:

- 1)当日の事前打ち合わせ

会議録

第1回 CAPP委員会

開催日時:2025年7月14日(月)19:30~21:20

開催方法:オンライン(zoom)

出席者:

CAPP委員長:中村悟

CAPP委員:大林杏子、佐々木拓也、三宮裕子、中島千恵、新山亮、濱野佐代子

理事:市川陽一朗、千葉陽子、吉田尚子

相談役:柴内裕子

オブザーバー:本田善久

事務局:山内和美

検討事項:

- 1)2025年次大会 市民プログラム・展示ブースについて
- 2)CAPP活動休止中の施設・チームについて
- 3)広報用素材の撮影について
- 4)京都大学附属病院の小児病棟参加ボランティア向け勉強会の開催について
- 5)リハビリテーションカレッジ島根からの講師依頼について
- 6)ボランティアさんへの交通費補助について

報告事項:

- 1)ニュースレターでのチーム紹介
- 2)CAPPチーム勉強会 進捗

3)IAHAIO2025@アムステルダム 吉田理事より

4)日本獣医生命科学大学獣医学科2年生を対象としたAAS実習

5)そのほかの大学関係の活動

・麻布大学看護学科キャリア支援イベント(実施済み)

・東洋大学でのふれあい活動と読み聞かせ(予定)

6)図書館の活動関係

・読書大プログラム新規開始予定

・豊島区立集島図書館、不知火美術館・図書館(熊本県宇城市)、港区立高輪図書館の3館

・BS朝日ネこいぬワイドショー出演

・京都市立芸術大学の取材

7)ポロシャツとTシャツについて

8)付添犬 活動報告(2025年度~)

その他:

・CAPP新規チーム立ち上げの条件について

・活動前シャンプーのタイミングについて

・小学校での活動を増やすには

・学生へのボランティア募集

・練馬在宅クリニックでの調査研究 千葉理事より

最後に、本田前委員長より委員長退任のごあいさつがあった。

会議録

第3回 執行役員会

開催日時:2025年7月25日(金)13:30~15:00

会場:公益社団法人日本動物病院協会 事務局(一部出席者zoom)

出席者:

会長:宗像 俊太郎

副会長:市川 陽一朗、上野 弘道、吉内 龍策

専務理事:水野 浩茂

事務局:伊藤啓美、芝亜希子

協議事項:

1. 事務局長および事務局員の雇用について
2. 今後のディレクターの組織について
3. こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座 受講料金の改定について
4. 賛助会員との情報交換会について

5. ハワイ渡航検査簡素化に関する岡田悠偉人先生からの依頼事項について

6. JAHAA学術誌「One Well-being」第2号の発行時期について

7. 学生会員の定義拡大について

8. 認定医(総合臨床医)、認定病院の資格をアジアに広げていくことについて

9. 盛岡市と和歌山県からの協賛・出展依頼について

10. ベットバスポートについて

11. 九州での看護師企画について

報告事項:

1. イオンベトナム株式会社様との協業の取り組みについて
2. 第3回年次大会実行委員会 会議録(7月7日)
3. 第1回CAPP委員会会議録(7月14日)
4. 会計報告(6月)

JAHAA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

~過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中~ 動画配信専用コンテンツもあります

国際セミナー

「リンパ腫から固形癌まで、困難な腫瘍との戦い方~腫瘍内科最新アップデート~」

《国際セミナー・オンラインセミナー》 2023年9月にオンラインセミナーとして開催しました。

講師:松山 新先生 米国獣医内科専門医(腫瘍科)、アジア獣医内科専門医(腫瘍科)、サスカチュワン大学 助教



経営情報(税務)

第125回

「事業承継の基本的な流れ」

税理士法人 和 (なごみ)
税理士 高松 仁 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
セミナー開催が厳しい状況が続く今、
皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちら(正会員病院の限定サービスです)

※アカウントをお持ちでない方は、
以下のリンクより「サービスのご案内」をご確認ください。

<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>





新入会 ～正会員 紹介～

エルク動物病院

《入会》7月4日 《入会区分》動物病院会員B
《住所》静岡県伊豆の国市田京45-2
TEL: 0558-76-8111
《正会員》村上 昭弘

若葉会動物病院

《入会》7月8日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》岡山県岡山市北区田中623-4
TEL: 086-806-2012
《正会員》標葉 譲

エムス動物病院

《入会》7月17日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》福岡県福岡市城南区東油山1-1-17
TEL: 092-874-5125
《正会員》舩重 尚久

済城動物病院

《入会》7月18日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》福岡県田川市千代町1616-1
TEL: 0947-46-1122
《正会員》済城 順也

博多犬猫医療センター

《入会》7月24日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》福岡県福岡市博多区千代1-16-14
ギャラクシー県庁口1階
TEL: 092-409-5396
《正会員》山口 智弘

あおき動物病院

《入会》7月30日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》神奈川県厚木市長谷32-2
TEL: 046-290-5575
《正会員》青木 大

こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコース10月開講！

子犬子猫のケアやしつけ、そして飼い主様への指導方法を基礎から学べる全7回のオンライン講座。動物の目線に立ったやさしいケアを実現するには、すべての動物病院スタッフがその大切さを理解していることが大切です。すでに取り組んでいる病院でも、まだ受講したことがないスタッフの方には、共通認識を築くために、改めてご受講いただくことをおすすめします。

子犬子猫とそのご家族が幸せな未来を築けるよう、動物病院でのサポートを行いましょう！なお、今年度より在学中から学べるよう、学生料金を設定しました。ぜひご活用ください。



《事務局日誌／7月》

4日	金	麻布大学ワークショップ
7日	月	第3回年次大会実行委員会
8日	火	CAPPボランティア講習会(対面)講師:風祭紀子さん、榎矢智枝さん 担当:山内
9日	水	JAHA会員特別オンラインセミナー「アメリカでの外科教育と避妊去勢手術による社会的貢献」 講師:林慶先生 司会:宗像俊太郎先生 担当:加藤
10日	木	WJVF実行委員会
11日	金	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技4「ビデオ検討会」 講師:山崎千佳先生 司会:羽金道代先生
14日	月	CAPP委員会
18日	金	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技4「ビデオ検討会」 講師:矢崎潤先生 司会:羽金道代先生
19日	土	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技4「ビデオ検討会」 講師:矢崎潤先生 司会:羽金道代先生
23日	水	オンラインセミナー「動物の不整脈を“治す”時代へ:EPマッピングとアブレーションの実践と可能性」 講師:Dr. Romain Pariaut 通訳:久保田朋子先生 司会:竹内さやか先生 担当:加藤
25日	金	認定医を目指すための症例発表会2025 座長:長谷川往明先生、勝間健次先生 アドバイザー:秋吉秀保先生、石田卓夫先生
26-27日	土・日	第3回執行役員会
27日	日	WJVF第16回大会 WJVF第16回大会 JAHA市民公開講座

セミナー予定

●第178回国際セミナー「未来の獣医整形外科を切り拓く～3Dプリンティング × 肘・股関節周囲疾患へのアプローチ～」

講師: Dr. Sun Young Kim (Purdue University)

日程:
東京会場: 9月3日(水)～5日(金)
大阪会場: 9月7日(日)～9日(火)

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 講義1「学習理論～基礎知識」オンライン

講師: 野口ゆづる先生

日程:
パート1 10月4日(土)14:00～17:00
パート2 10月11日(土)14:00～17:00

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「麻酔学」科目

講師: 風間 匠 先生 (コロラド州立大学米国麻酔疼痛管理科専門医レジデント)

日程: 10月中開催
形式: Zoomでのライブ配信(見返し配信アリ)

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 実技3「犬連れキャンプ」

講師: JAHA認定家庭犬しつけインストラクターによるチーム

日程: 10月20日(月)～10月23日(木)
会場: ドッグリゾートワフ

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 講義3「子犬に関する基礎知識」オンライン

講師: 村田香織先生、山崎千佳先生

日程:
パート1 11月8日(土)
14:00～17:00 村田香織先生
パート2 11月15日(土)

14:00～17:00 山崎千佳先生

●動物病院スタッフのためのシニアケア講座2025・オンライン

日程: 11月13日～2026年3月

第1回: 11月13日(木)14:00～16:30

講師: 小澤 真希子 先生

第2回: 12月10日(水)14:00～17:00

講師: 皆上 大吾 先生

第3回: 1月22日(木)14:00～17:00

講師: 宮田 拓馬 先生、島田 旭緒 先生

第4回: 2月19日(木)14:00～17:00

講師: 徳本 一義 先生

第5回: 3月18日(水)14:00～17:00

講師: 小野沢 栄里 先生、小松原 大介先生

●JAHA年次大会2025

日程: 11月26日(水)、27日(木)

会場: AP東京八重洲(東京駅八重洲口 徒歩6分)

●JAHAオンラインセミナー「画像診断」

講師: 栗原 学先生 (North Carolina State University)

日程:

講義配信: 11月14日(金)～12月18日(木)

質疑応答: 12月18日(木)21:00～22:00

形式: 講義は収録配信、質疑応答はライブ配信

後援催事等

●大阪動物愛護フェスティバル2025

1) 大阪動物愛護フェスティバル2025 in 大阪市中央公会堂

日程: 9月20日(土)13:30から

場所: 大阪市中央公会堂

2) 大阪動物愛護フェスティバル2025 in 鶴見緑地

日程: 11月9日(日)10:00～16:00

場所: 花博記念公園鶴見緑地パーゴラ広場

●第27回 日本臨床獣医学フォーラム (JBVP) 年次大会2025

日程:

9月27日(土)8:50～20:00

9月28日(日)8:50～18:10

会場: ホテルニューオータニ東京(東京都千代田区紀尾井町4-1)

主催: 一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム(JBVP)

●Zoobiquityシンポジウム

日程: 10月18日(土)

場所: 大阪公立大学 森ノ宮キャンパス

内容: 北米と日本の大学のOne HealthやZoobiquityへの取り組みの紹介と海外からの来賓者との討論会

主催: 大阪公立大学

申込先: <https://form.run/@Zoobiquity-Symposium>

お問い合わせ先: 072-463-5783

●FASAVA2025大邱大会 参加ツアー

開催日: 10月30日～11月3日/4泊5日

開催地: 大邱市(韓国)

主催: 株式会社 南海国際旅行

●2025動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"

テーマ: 「一動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」

日程: 11月15日(土)10:00～16:00

会場: 上野恩賜公園(水上音楽堂及び不忍池周辺)

主催: 公益社団法人日本獣医師会

会員数(令和7年7月31日現在)

合計8,762名

動物病院会員A	424病院	勤務獣医師会員	1,809名
動物病院会員B	233病院	勤務動物看護職員	5,032名
個人正会員	5名	学生会員	24名
名誉会員	2名	サポート会員	681名
個人獣医師会員	100名	施設賛助会員	170施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	89社
学術会員	148名		

JAHA 年次大会 2025

One Well-being 「対話」

～すべての生命が響き合う、調和の未来へ～

日程 11月26日(水)・27日(木) 会場 AP東京八重洲

参加費
無料

VET VN 市民

11/26 水

14:00～
15:30

11F:
room L/M

「イヌは世界をどう認識しているのか
～視覚・認知・行動に関わる
遺伝的背景の理解～」

●講師
菊水 健史 先生
(麻布大学)



VET VN

11/27 木

13:00～
15:00

11F:
room L/M

「JAHA流ラウンドスペシャル編
こんなときどうする? VET×VNコラボの力」

獣医師



小山田 和央 先生
(松原動物病院)



塗木 貴臣 先生
(TRVA動物医療センター)

愛玩動物
看護師



旭 あすか 先生
(りんこの動物病院)



新谷 政人 先生
(クロス動物医療センター)

年次大会 HP

お申し込みはこちらから……▶

